



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第416号

2019年7月29日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

阿蘇地域の住民が市長に申し入れ

7月18日、市教育委員会が推し進めている阿蘇・米本地域の施設分離型小中一貫校計画に反対している阿蘇地域の住民10名は、「阿蘇小学校をなくし、米本南小学校に統合する計画を白紙に戻すこと」を求めて服部市長に申し入れを行いました。

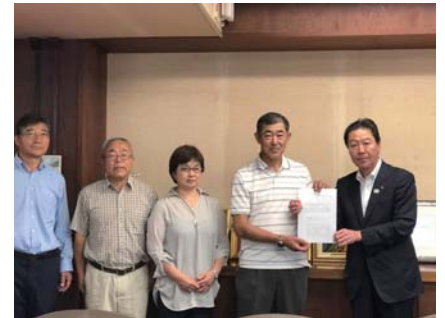
この5年間、「阿蘇・米本地域の学校統廃合問題」に地域住民や保護者・子どもたちは不安と心配を抱き、ほんろうされてきました。

「施設一体型小中一貫校」を断念に追い込む

教育委員会は阿蘇・米本地域の小中一貫計画についてこの2年間、地域住民に一切説明を行ってきませんでした。この問題が一向に解決しない原因は、学校統廃合を住民の意思に反し強引に進めたことにあります。

阿蘇・米本地域の住民は、「阿蘇小学校の存続を」の署名運動などから、さらに「米本団地から小学校をなくすな」の署名運動に取り組むなど粘り強い運動を進めてきました。

その結果、教育委員会が進めようとした「施設一体型の小中一貫校」は、断念に追い込まれ、あらたに施設分離型の小中一貫校を押しつけてきました。



市長に申し入れ

教育委員会は市長の「決裁」を理解せず

教育委員会は、5月の住民説明会で、施設分離型の小中一貫校計画は市長の「決裁」をもらったので、「決裁」通りに進めると主張していました。そこで、今回の申し入れで服部市長に「決裁」の真偽を問いました。

市長は、「教育委員会が『施設一体型の方針』を『施設分離型の方針』に変更をしたことは了解したけれども、何が何でもこの計画を推し進めることを了承し、決裁したのではない」と答えました。教育委員会と市長の決裁の意味が違っていることが明確になりました。

「賛成が得られないなら白紙に戻す」(市長)

市長は、「米本団地の2校が合併しても複数学級にはならないので、効果的ではないが、阿蘇の地域の方に米本との統合の協力をお願いしても、それがかなわないというのなら方針は変えます。」「阿蘇地域の賛成が得られないなら何が何でも阿蘇小をつぶすということではないので、白紙に戻す。」と答えました。

また、「30日の説明会までには、教育委員会に私の真意を伝えておきます。」ということで申し入れは終わりました。

日本共産党は、阿蘇・米本地域の活性化、地域のコミュニティーの中核としての学校の役割など、一貫して住民の願いに寄り添ってきました。今後とも、阿蘇小学校の存続のために頑張ります。